

よろず相談・汐入診療所待合室だより

よ・ろ・し・お

2020年2月号 (Vol.2)



発行：汐入診療所 荒川区南千住南千住8-10-3-101 TEL 03-3807-2302

40歳以上の皆様へ：大腸がん検診のすすめ

汐入診療所では毎年2月・3月を「大腸がん検診月間」として、大腸がん検診をすすめています。大腸がんは男性では3番目、女性では2番目に多いがんです。「大腸がん検診」で行う便潜血検査は自宅で簡便に行うことができ、大腸がんの早期発見に大変有益です。一般的に40歳以上の方には毎年便潜血検査での「大腸がん検診」を行うことが推奨されています。大腸がん検診を毎年行うことで、大腸がんによる死亡が60%減ると報告されています。ぜひこの機会に大腸がん検診を受けることを考えてみましょう！

～当院で便潜血検査を行う方法～

・便潜血自己判断セット：300円（※組合員限定）

※診療所でお渡しするキットを用いて、自分で判定します。

・通常の便潜血検査：保険適応（1割負担で110円、3割負担で330円）

※上記金額とは別に、通常の診察にかかる費用がかかります。

診療所でお渡しする容器に便を採取し、診療所に持参して提出します。提出して数日後に結果が出るので、結果を聞きに来てください。

詳細は裏面を参照、または汐入診療所スタッフまでお尋ね下さい。

～大腸がん検診・便潜血検査Q&A～

Q. 便に血が混じってないから検査しなくても大丈夫？

A. 大腸がんからの出血は通常微量で、目では見えません。そのため便潜血検査を行い、便に微量の出血があるか確認する必要があります。

Q. 便潜血反応陽性の人の中で、どれ位の人に大腸がんがありますか？

A. 便潜血検査を受けた人のうち、約6%が便潜血反応陽性になると言われています。便潜血反応が陽性となった人のうち、約3%にがんが発見されると言われています。また便潜血反応が陽性の人が内視鏡検査を受けることで、がんになる前の大腸ポリープやその他の大腸の病気等が見つかる場合もあります。

Q. 便潜血反応が陽性となった場合は、どうしたら良いですか？

A. 下部消化管内視鏡検査（大腸カメラ）で、大腸を検査することがすすめられています。2日間行った検査で1日でも陽性だった場合には、内視鏡検査を行うことがすすめられています。当院では検査はできないため、検査できる医療機関を提案させて頂き、希望する医療機関に紹介することが可能です。

Q. 2日間の便潜血検査で1回が陽性で1回が陰性でも内視鏡検査は必要ですか？

A. がんからの出血は間欠的であり、大腸がんがあるからと言って必ず便潜血反応が陽性になる訳ではありません。便潜血反応が陽性になるのは、早期の大腸がんでは60%程度、進行した大腸がんでも90%程度と言われています。そのため2日間検査する必要があります。1日でも陽性となった場合には内視鏡検査（大腸カメラ）がすすめられています。

Q. 大腸がんの症状はどんなものがありますか？

A. 大腸がんの自覚症状としては、便に血が混じる・便が細い・腹痛・下痢と便秘の繰り返し・便が残る感じ・お腹が張る感じ・粘液の付着等がありますが、自覚症状が出る時点ではがんが進行している場合も多いです。大腸がん検診（便潜血検査）を行うことで、早期がんやがんになる前の大腸ポリープの段階で大腸がんが発見できる場合が多くあります。

Q. 大腸がんの治療はどうなりますか？

A. 進行した大腸がんはお腹を開けての手術や抗がん剤治療等となりますが、早期がんやがんになる前の大腸ポリープの段階であれば、多くの場合お腹を開けずに内視鏡（大腸カメラ）を用いての腫瘍（ポリープ）切除で完治が期待できます。早期発見・治療のためにも、大腸がん検診を受けることがすすめられています。

※よろず相談・汐入診療所待合室だより「よ・ろ・し・お」第2号となりました！

健康に役立つ小さな情報をお伝えする「よ・ろ・し・お」、2020年より開始としました。来院時にお渡しさせて頂きます。待合室で待ち時間で読んでも、持ち帰って家族や近所の方と一緒に見て頂いても構いません。1-2月に1回の発行を目指します。どうぞよろしく願い致します。